

編入学試験合格体験記

2022年度の編入学試験に合格され、入学された方々の体験談です。受験準備の際の参考にしてください。

【質問項目】

1. 法政大学に編入学しようと思ったきっかけについて
2. 編入学試験準備（①論文対策、②英語対策、③面接対策、④その他勉強したことなど）
3. 試験後、「もっと勉強（準備）しておけばよかった」と思ったこと
4. 前の学校で勉強したことで、本学の編入学試験や単位認定に役立ったこと
5. 自由記述

■法学部法律学科 2022年度2年次編入合格

Aさん（四年制大学外国語学科出身）

1. 法政大学に編入しようと思った理由は、伝統のある有名私大であり、東京六大学でスポーツも強くとても憧れていたからです。現役でも一浪でも法政大学に落ちてしまったのですが、諦めきれなかったので編入を決意しました。また、法律にも興味を持っていたことから、法学部を受験しました。
2. ①論文対策としては、編入予備校に行って勉強していました。そこでは、毎回、人文系の小論文を書いて添削してもらっていました。やはり、日々小論文を解いて、先生にしっかり添削してもらうことが非常に重要だと思います。②英語についても、編入予備校に通って勉強していました。具体的には、英単語を覚えたり、長文問題を解いたりしていました。長文問題をたくさん解いて慣れることが合格する最大の秘訣だと思います。③法学部なので面接はなかったです。④まず、英語に関しては、英単語を一日15分くらい触れて、忘れないようにしました。あとは、難しい長文問題を週に2回解いていました。一回の長文問題に対して、解くのに一時間半くらい、直ちに二時間半くらいかけてじっくり直していました。次に、小論文に関しては、週に一回解いていました。二時間くらい解くのにじっくり考えていました。また、添削してもらった答案を30分くらいしっかり見直していました。
3. 小論文を書く上で、背景知識をもっと入れておけばよかったなと感じました。知識が少なかったことから、自分なりに知識を振り絞って書いたのですが、小論文に関しては解き終わった時、自信がなかったです。ただ、知識に関しては、知っているかいないかということから、かなり運に左右されると思うので、仕方ない部分もあると思います。
4. 前の大学では、だいたい400字以上のレポート課題が基本的に毎回どの授業でも出されていたので、それがとても役に立ったかなと感じました。編入学試験を決意するまでは、ほとんど文章を書く練習をしてこなかったのが、練習になりました。単位認定に関しては、学部自体を変えたので、法学部の専門科目は何も認定されませんでした。以

前所属していた大学がドイツ語学科だったので、語学の単位を全て移行できたことがとても良かったです。また、語学以外の単位に関しても、ILAC科目（市ヶ谷キャンパス生が共通で履修する教養科目）通教養科目）としてほとんど認定されていたので、安心しました。

5. 編入はネットとかで調べると、情報も少なく、採る人数も少ないことから、難しいイメージを持つかと思います。ただ、僕は、一般受験よりは挑みやすい試験だなと感じました。というのも、法学部は小論文と英語に限られており、それに集中して取り組むことができるからです。英語と小論文ができれば、受かるので、ぜひ皆さんにもチャレンジして欲しいです。

■法学部政治学科 2022 年度 2 年次編入合格

B さん（四年制大学政治学科出身）

1. 編入しようと思ったきっかけは、大学受験で自分の納得する結果を出せなかったからです。様々な選択肢を考えたのですが、知人から編入制度の話聞いて、自分に合っている受験形態だと思い、編入で大学受験のリベンジを果たそうと思いました。編入は制度がある大学自体少なく、情報を集めるのも大変だったため、私は編入予備校に話を聞きに行きました。すると、編入の主は3年次編入で、3年次のみしか募集していない大学も多いと聞きました。しかし、私はサークル活動、学業、就活などの大学生活も楽しみたいと思っていたため、2年次編入がある大学を探し、自分が受験したい学科のある法政大学を選びました。
2. ①小論文の書き方・内容・勉強法、全て分からなかったため、自分で書いても独りよがりの文章になってしまうのではないかと考え、私は編入予備校に通うことにしました。まず、講義で試験の範囲となっている分野の知識をインプットし、「序論・本論・結論」で書く練習から始めました。最初は解答例を真似して書いたり、声に出して読み、小論文の型を習得していきました。そして、徐々に自分で書き始め、書いた文章は必ず先生に添削していただき、自分の文章に足りないところ、癖などを指摘してもらいました。小論文は内容はもちろんですが、いかに論理的に書けているかということも重要なので、私は自分以外の人に文章を読んでもらい、意見をもらうことは小論文を勉強する上で大切なことだと思いました。試験直前は制限時間を設け、とにかく書きまくるという練習もしました。②英語は大学受験時も苦手科目だったため、基本から勉強し直しました。大学受験の際使っていた単語帳と、文法書を復習しました。しかし、私は小論文に主な勉強時間を割いていたため、英語は基本的な事項を勉強し終えた後は、週に1回長文を読んだら良い方くらいの勉強量でした。そのため、試験本番も英語は不安材料でした。③面接はありませんでした。④小論文は週に一度予備校に通い、その復習を行っていました。1日の勉強時間は何時間と設けるのではなく、そのとき通っていた大学の授業、課題を優先しつつ、隙間時間を活用して勉強していました。例えば、電車に乗っていると

きは新聞や資料集、用語集を用いて、知識をつけていました。また、大学の講義の内容が編入試験の範囲に活きることもあるので、大学の授業も受験勉強の一環になっていたと思います。

3. 試験本番、小論文では想定外の問題が出ました。試験中は問題から発想を飛ばして自分の持っている、書ける知識とつなぎ合わせて書きましたが、書いたものに手応えはありませんでした。なので、普段から様々な角度から物事を捉えたり、物事の多様な側面を考えているべきだったと振り返っていました。
4. 大学の勉強はそのときは分からなくても、後々、この分野と繋がりがあったんだなどと発見があることも多く、そのときの印象が頭に残っていることで、小論文で書けることも増えるので、大学の勉強もきちんと手を抜かず行うべきだと思います。
5. 二つの大学に通うことで、大学ごとの特色や違いに気づく事ができるので、貴重な経験になりました。また、大学の受験の失敗を繰り返さないよう、2度目の受験では自分で試行錯誤でき、受験が上手くいったら自分の自信につながるので、私は編入試験に挑戦出来て良かったと思っています。法政大学は前籍の大学より活気があるように感じ、私も刺激を受けるので、法政大学に通うことができ満足しています。

■法学部政治学科 2022 年度 3 年次編入合格

Cさん（四年制大学政治学科出身）

1. もっと高いレベルで学問を学びたいと思ったから。将来のキャリア設計で役に立つと考えたから。
2. ①小論文は知識が命です。自分の受ける学部分野の勉強は前の大学の教科書を熟読していました。入門的な専門書を読むことをお勧めします。最初は絶対に思い通りに文を書くことはできません。週2、3回は時間を計ってルーズリーフに文章を書くことが大切です。小論文の内容は自分が受ける学部分野について書いていました。そして書いたものは自身の友人や家族の人に読んでもらい、分かり易いという感想をもらえれば大体大丈夫ということでしょう。定期的に書き続けることが重要です。②英語の勉強は通常の大学受験の勉強と同様で大丈夫です。文法や長文は他大学のものや法政大学の過去問を解いていました。ただ、自分の受ける分野の学部の過去問を選んだ方が良いです。③面接はありませんでした。④ここまでやれば、絶対に受かる、対策はばっちりと考えられるまでやりましょう。こればかりはやりきるしかありません。ただ、通常の大学受験と違い、日本史や古文などの知識系のような科目がほとんどありません。時間もたっぷりあります。大切なのは、計画的に勉強することです。友人と遊ぶことも良いと思いますし、実際私は遊んでいました。ずっと勉強することは逆効果ですし、モチベーションの維持は難しいです。メリハリを大事に。
3. 完璧でした。やり切ったという感覚しかありません。

4. 編入以前の大学も真面目に取り組むべきです。小論文や英語の試験でも役に立つだけでなく、日々の勉強生活にも影響します。
5. 大学編入を成功したとしても幸せになれるとは限りません。認定単位の関係上、3年次編入で入ったとしても48単位フルで授業に出なくてはなりません。途中から入るので友人を作ることも難しいでしょう。楽しい大学生活とは一線を画し、勉強することが多いです。しかしながら、勉強に没頭できますし、キャリア設計も充実します。やりたい学問を学べることは何よりの喜びです。自分の研究したいことに没頭できるのは大学生だけです。大学生活4年間を勉強にささげるのも悪くないのではないのでしょうか。挑戦する人はぜひ頑張ってください。

■文学部日本文学科 2022 年度 2 年次編入合格

Dさん（四年制大学英語系学科出身）

1. 前の大学では英語を学んでいたが実際に外国人と話したときに日本の文化について説明できないと交流の場で自分の意見を積極的に発信できないことに気づき編入した。他の大学は圧迫面接が多かったが法政大学は優しかった。
2. ①どんな問題が来ても一貫性のある答えにしようとした。③周囲の人に協力してもらいどんな質問が来ても答えられるようにした。④日本の文豪について一日3時間勉強した。古典について一日3時間勉強した。
3. 勉強はしてもしたりなかったため広く勉強しておけばよかったと思った。
4. 前の学校ではほぼ英語しか単位を取得しておらず取得単位が偏ってしまったためあらゆるジャンルの単位を取得していた方がいいと思う。
5. 思い立ったが吉日です。今日から編入試験に向けて勉強を始めてみましょう！

■文学部地理学科 2022 年度 2 年次編入合格

Eさん（外国語専修学校出身）

1. 浪人して、どこも行くところがなくなった時に、専門学校で大学の編入制度を知りました。航空管制官になりたいと考えているので、英文科に入れるようにずっと勉強していましたが、専門学校のアメリカ史と世界史の担当の先生から「好きなことをし続ける楽しさ、やりたいことをやれる面白さ」を教わったことをきっかけに、高校の時から勉強したかった地理の学科への編入学を目指すことにしました。
2. ①専門学校の大学編入コースに小論文対策の授業が週2回あったので、個別で勉強するということはなかったです。基本的な書き方や、また時事問題もあつかう授業だったので、他にも役に立つ授業でした。また、過去問が公開されていたので対策をしやすかったです。他に、他大学の赤本を解いてみたりしました。②外語専門学校に通っていたこともあり、毎日英語に触れていました。ネイティブの先生もいたので、英語で授業する教科もあり、英語の力がつきました。自分は英語が苦手でありたくなくて高校は理系選択をして逃げてきたので、苦労しました…。③自分が将来になりたいか、自分の場合は航空管制官か教員になりたいという目標があるので、大学でやること、やりたいことが明確でした。なので、それに沿って聞かれたことを答えられるようにしていました。④自分は、9月からの受験勉強でしたが、もともと地理が好きだったこともあったことと、浪人が終わった後も勉強ではないのですが、テキストやプリントを眺めたりしていたこともあり、完全に忘れていたところがなかったことが幸いでした。最初に過去問を調べながら解いてみて、それでもわからないことを先生に聞きながらやりました。そして、とにかく地理の基礎を勉強していました。高校の教科書を見返し、小さなコラムも全て読んで頭に叩き込みました。受験日の1ヵ月前に持っている赤本や、無料公開されている大学の過去問の地理を解きまくりました。

3. 地理の勉強を9月から始めたため、やはり準備不足でした。高校生で学んでいなかったことも出たので、地理に関わるニュースなどをもっと見ていればよかったなと思いました。
4. 外語専門学校だったので、英語を中心に学んでいました。自分はスペイン語とフランス語を1年ずつ学んだのですが、他にも中国語、韓国語も学べるので単位認定してもらえるものも多かったです。一般教養の科目は、互換されるものがあるので、なるべく良い成績を取っておくと後が楽かもしれないです。
5. 将来の就職に有利になるためだけに決めるのではなく、自分のやってみたい、学んでみたいもので決めるのもいいのかなと思います。遠回りをしたり、つまずいたりしても自分が望んだところに最終的に行けるようにしたらいいのかなと思います。

■文学部地理学科 2022 年度 3 年次編入合格

F さん（専修学校 大学編入専攻出身）

1. 前籍の学校では観光社会学について研究していたが、その中で地図上での空間的変容を学びたいと考え、地理学を学びたいと思うようになった。そこで歴史地理学、観光地理学を専門とする先生の下で学んでいきたいと考え、法政大学を志望した。
2. ①過去問題を見て傾向を掴んだ。HP に載っているものと、学部窓口へ直接赴いて閲覧するものと、どちらも参考にした。試験内容は地理学の用語説明だったため、地理学の辞典と、人文地理学のテキストを買って対策をした。②英検で出願した。TOEIC も受けていたが、法政大学の出願資格は TOEIC だと S&W を含む 4 技能が必要であり、自分は L&R のみしか受けていなかったため、できなかった。③志望理由は 4 分程度話すようにした。3 年次なら具体的な研究内容や、支持したい先生などを挙げるとよいと思う。そこから深掘されそうなことを予想して回答を用意し、スムーズに受け答えできるように準備した。その他は、将来の進路、読んだ本や論文、なぜ編入か、気になるニュース、アルバイト経験についてなどの答えも準備していた。あとは笑顔。④地理学の用語説明対策を 1 日約 6 時間していた。また、休憩時に地理学、観光学の論文を読んでいた。
3. 試験の傾向が変わっていたため、用語説明だけでなく、高校の内容等も準備しておけばよかった。
4. 主に英語と社会学を学んでおり、結構単位互換されたため、ILAC 科目（市ヶ谷キャンパス生が共通で履修する教養科目）が楽になった。
5. 法政大学は、1 次の筆記試験を通らないと 2 次の面接に進めないという残酷な編入学試験です。そのため、まずは 1 次試験突破を目指して論文対策をしっかりと行ってください。面接は発表ではなく、面接官との会話です。空回りせず、落ち着いて言いたいことを言えるようにしてください。

■社会学部社会学科 2022 年度 2 年次編入合格

G さん（四年制大学人間科学部出身）

1. 大学入学試験の結果に満足いかなかったため。前の大学で授業を受けていて、自分ならもっとやれると思ったため。二年生から参加できるゼミ活動に魅力を感じたため。
2. ①文章の書き方について勉強した。どのように書いたら読みやすいのか、伝わりやすいか、インパクトが残りやすいかなど。②とにかく単語を復習した。その上で英作文対策に多くの時間を使った。③何を伝えたいのかを明確にしておく。聞かれそうな質問を予想してあらかじめ答えを作っておく。笑顔の練習。
3. 論文対策のためにもっと多くの本を読んで、様々な考え方ができるよう準備しておけばよかった。
4. 前籍の大学で多くの単位を取っておけば、単位認定されやすい。
5. 編入試験をするにあたって新たな場所に飛び込んでいくことに関して勇気がいると思うが、悩んでいるよりも、積極的にチャレンジしていった方がいいと思う。後悔のない素敵な大学生活を送ってほしい。

■社会学部メディア社会学科 2022 年度 2 年次編入合格

H さん（四年制大学看護系学部出身）

1. 前籍の学校では、今学んでいることが本当にやりたかったことだったのかという悩みを持ち続けていました。熟考した結果、専門を変えて学び直しをしようと編入を決心しました。
2. ①1年間、編入予備校に通い、論文の書き方の指導を受けていました。②法政大学に来校し、編入試験の過去問を閲覧してどのような問題が出るのかを把握しました。また、一般試験の過去問にも取り組みました。③本番で聞かれそうなことを予想して答える練習をしました。特に、志望動機やなぜ社会学部でメディアを学びたいのかをきちんと答えられるように備えました。また、社会学部で学べる科目やゼミで受けたいものについてはよく調べておくようにしました。④私は1年間、出身大学を退学した状態で編入対策をしていたため、週に1、2回予備校に通いながら、それ以外は近くの図書館に通い学習をしていました。本は、社会学の用語を中心に書かれているものを読んでいました。また、社会学以外の分野のものやいくつかの手記を読み、さまざまな考えに触れました。
3. 面接対策として、入学してからやりたいこと、卒業までにできるようになりたいことのような入学後の目標を、より具体的にどのように考えているかを考えておく必要があったと思いました。
4. 出身の大学と法政大学社会学部では、学べることが全然違います。そのため、単位認定していただけるのはごくわずかだろうと思っていました。しかし、たとえ専門が異なっても想像以上に多くの単位が認定していただけたため、今まで学んできたことが役立ったと思いました。

5. 高校生の時点で、自分の将来を決めて、後悔のない進路に進むことは難しいと思います。また、実際に大学で学んでいく中で思っていたのと違うと思うことも多いと思います。そんな時でも、編入は新しい分野を学び直す方法のひとつだと思うため、挑戦してみる価値があり、貴重な経験になると思います。

■経営学部経営戦略学科 2022 年度 2 年次編入合格

I さん（四年制大学商学部出身）

1. 以前一般受験を 2 年挑戦しても入れず、どうしても法政大学に入学したかったから。
2. ①大学受験用の小論文対策のおさらい②ielts を使用し過去問演習を行った。③法政大学の理念に目を通して法政大学の考える大学生像を理解した。④経営学の理論本や話題のビジネス書
4. 経営学の知識を事前に学べていたので編入後の授業にもついていけた。
5. 法政大学に編入出来たことを今でも嬉しく思っています。

■経営学部経営戦略学科 2022 年度 2 年次編入合格

J さん（短期大学英語科出身）

1. 前籍の学校で経営学の授業を受けて勉強したくなった。特に中小企業のグローバルな経営環境における経営戦略策定を学びたいと思った。ゼミの開講数やカリキュラムの内容を見て、法政大学であればより深く学ぶことが出来ると考えた。
2. ①小論文に関する本の問題を解き、別の本を使って自分が書いた文章を厳しく添削した。本以外でもネットで小論文の問題を探してきて解いていた。一日に小論文を 2 つ書き、次の日に添削した。また知識が無ければ答えることが出来ない問題が多いので、就活用のキーワード集を使って時事問題への理解を深めていた。時事の本だけでは足りないこともあるので、放送局のビジネスニュースのサイトで、その日のニュースを片っ端から全て読み常に新しい情報を知っているようにした。全てのニュースに目を通すために、朝食、昼食、夕食後にサイトのニュース一覧のところを見ていた。入試一か月前から過去問を解いていた。②私は IELTS の得点を提出した。このテストを選んだのは月に何回もテストがあること、コンピューターで受験できること、早く結果を確認できること、早く大学へ結果送付が出来ることが理由だ。試験対策は参考書を 1 冊決めて、それを 10 周ほど解いていた。また参考書にパソコンを使った模試がついていたので、それも活用した。③法政大学に編入した先輩にどんな質問があったのか聞き、それに対する答えを用意した。また自分で面接で聞かれるであろう質問を考え、答えを用意した。その質問と答えはノートに書いておき、隙間時間に見るようにしていた。面接練習では入室するところから始まり、質問に答え、退出するまでの通し練習を何度も行った。④経営学の入門書、経営戦略に関する本、マーケティングに関する本、中小企業論の本、国際経営学の本を読んだ。また法政大学の先生方の論文も 6 本読んでいた。毎日 6 時間以上勉強していたのだが、その内の 8 割を論文対策に充て、残りを英語対策と面接対策に充てていた。移動時間などの隙間時間をほぼ全て受験勉強に充てていた。
3. もっと面接の準備をしておくべきだった。想定していなかった質問が出たり、緊張から頭が真っ白になることがあったからだ。また一人で準備をしていたので想定外の質問に対する練習ができなかった。そのため面接練習をするときにもっと周りの人を頼れば

よかったと後悔した。

4. 前の学校では経営学に関係ないことであっても自分が興味を持った授業はなるべく全て取るようにしていた。それが単位認定の際に教養科目に影響したと思う。また高いGPAを取れるように常に努力していた。それも単位認定に役立ったと考える。編入学試験では前の学校で学んだ内容が小論文の問題に出てきたので、しっかりと答案を組み立てることが出来たと思う。
5. 私が受験生時代を通してずっと後悔していたことはもっと早く勉強を始めていればよかったということです。本当の意味で本腰を入れて勉強をし始めたのは試験の2か月前からでした。それまでだらだらと勉強していた私は、2か月前になってようやく自分がいる場所に気が付きました。そこから試験までの2か月間は毎日大学の授業を除いて10時間以上勉強をしてそれでも間に合うかどうかでした。受験生の方にお伝えしたいことはとにかく早く受験勉強を始めてほしいということです。早ければ早いほど得をします。あとは自分の努力を信じて頑張ってください。

■経営学部市場経営学科 2022年度2年次編入合格

Kさん（四年制大学経済学系学部出身）

1. 前の学校では経済、経営など、ビジネスに関することについて広く浅く学んでいたのですが、大学に入ってから商品開発についてもっと深く学びたいと思い、マーケティングに特化していて、商品開発企画などを行っているゼミに興味を持ち、法政大学に編入しよう決めました。
2. ①新聞を読む。文章を書くことに慣れておく。書いた文章は必ず添削してもらおう。②〈試験の種類〉IELTS 〈選んだ理由〉ネットで、TOEFLはIELTSよりも対策が難しいと見て、私は英語がそこまで得意ではなかったので比較的TOEFLよりも対策が難しくないIELTSを選びました。③経営に関する本を読んだ。新聞を読むだけでなく、見出しになってる自分が重要そうだった単語（例えばSDGs、COP26など）を拾って、ネットでそれについて深く調べた。
5. 法政大学の小論文試験は1時間で2題の問題に取り組まなければいけなく、文章を書くことに慣れていないと時間が全く足りないのです。法政大学の過去問だけでなく、他の大学の過去問、参考書に載っている小論文のお題など、なんでもいいのでとにかく小論文を沢山書いておくことをオススメします！小論文を沢山書くと、似たような問題に出会った時に、文章構成がしやすくなります！また、小論文を書く際には時間を測るようにした方がいいです！

■現代福祉学部福祉コミュニティ学科 2022 年度 2 年次編入合格

L さん（短期大学英語科出身）

1. 短期大学のゼミで社会福祉に興味を持ち、短大卒業後に四年制大学に編入学して社会福祉を学びたいと思った。法政大学にしようと思ったのは、社会福祉と地域づくりの両方を学ぶことが出来るのが魅力に感じたから。
2. ①編入学対策の塾に入り、社会福祉系の問題や法政大学の過去問題を解いた。塾の先生に見直しをしてもらい、基本的な文章の構成は完璧にした。②基本的には法政大学の過去問題を解いて、塾の先生に見直しをしてもらった。論文に比べると英語を勉強した時間は少なかった。③基本的な質問に対する答えを事前に考えておき、塾の先生とたくさん練習した。試験前は家でも、寝る前に 15 分程度 1 人で面接練習をした。④社会福祉は短期大学で学んでいなかったなので、参考書を買って独学で社会福祉の勉強をした。編入学試験の直前まではあまり勉強できなかった。
3. 1 次結果はその場で出たので、面接の結果待ちのときに不安があった。質問に答えることは出来たが自信がなかった。
4. 短期大学が英語科だったため、英語の試験勉強に役立った。